



# 自転車通学 ヘルメット浸透せず

## 釧路市内公立高8校アンケート

道路交通法改正に伴い、昨年4月に努力義務となった自転車乗車時のヘルメット着用が、釧路市内の公立校の自転車通学で進んでいない。市内の公立高8校へのアンケートでは、7校が着用者の割合を「1割以下」と回答。事故時に命を守る有効策だが、強制力のない努力義務で、各家庭での購入負担が大きく、学校単独での指導が難しい状況が浮かぶ。



自転車事故の多発する旭橋の横断歩道で、通学中の高校生を見守る釧路警員＝5月10日

アンケートは、市内の公立高8校に4月下旬～5月上旬、電話で聞き取った。7校が「1割未満」「ほぼゼロ」などと回答。表1。残る1校の阿寒高は、9人の自転車通学申請者のうち日常的に7人が自転車で登校し、5人が着用しているとした。

### 210人中4人

5月上旬の通学時間帯

は30件を占め、旭橋で3件計74件発生。うち高校生が自転車と車両が絡む人身事故が内で2021～23年に自転車と車両が絡む人身事故が

## 着用1割以下7校 重い購入負担「強制しづらい」

また、安全認証を受けた自転車用のヘルメットの販売価格は5千円ほどで、釧路工業高で生徒指導を担当する教員は「ヘルメット購入費の家庭の負担が重く、強制しづらい」と打ち明ける。全国では行政が購入費用を一部補助することで、着用率を上げる取り組みもある。東京都は4月から、全部立学校で自転車通学を認める条件にヘルメット着用を加えており、都教委の担当

発生している。ヘルメット未着用の理由について、釧路湖陵高の男子生徒2年生は「髪がべちゃべちになる。自分だけ着けたら回りから『特殊』と思われ」と話した。着用が進まない理由について、釧路江南高の滝沢晶子教頭は「小中学生で着用の習慣が付いておらず、多感な高校生になって着用させるのは難しい」と説明。釧路明輝高の田村郁夫教頭は「自分は事故に遭わないと考えてしまう生徒が多い」と語る。

	生徒(人)	自転車通学(人)	着用割合
釧路湖陵	658	229	1割未満
釧路江南	587	431	1割未満
釧路商業	415	281	ほぼゼロ
釧路工業	473	300	1割未満
釧路明輝	548	423	数人
釧路東	228	75	1割以下
阿寒	43	9	5人
釧路北陽	589	273	ほぼゼロ

※5月1日現在、各校への取材を基に作成

### 補助に慎重

ただ、釧路市市民生活課の担当者は「予算の問題もあり、それだけの利用実績があるか、他都市の状況をまず調べる必要がある」と慎重な姿勢を示す。

2024年5月25日(土) 朝刊 釧路・根室版 15ページ(記事は再編集しています)

① ヘルメット未着用の理由について、記事の中の傍線部と同じような心理状況になるものを2つ選び、記号で答えなさい。

- ア 車通りが多い道路の横断は怖いので、遠回りをして信号のある横断歩道を使った。
- イ 緊急地震速報が流れたが、周りの人は無反応だったので問題ないと考えて、いつも通り過ごした。
- ウ 明日は大雪予報だということを知っていたけれど、家の前の雪かきを一生懸命行った。
- エ 自分の部屋のゴミ箱ではないところにゴミが落ちていたけれど、特に気にしなかった。
- オ ショッピングモールで火災報知器が鳴っていたけれど、周りの人は逃げなかったので買い物続けた。

② この記事を読んだAさんは、高校生の着用率が伸び悩む理由を、購入の負担やヘルメットの価格だけではなく考えました。Aさんは記事のどの部分に注目したと考えられますか。問1のコメント以外から、「～ということ」に続く形で、ひとつ抜き出して答えなさい。

～ということ